

パブリックコメントの結果と市の考え方

【実施期間】 令和4年1月27日（木）～2月10日（木）

【意見の提出状況】 2人

No	受付日	市民の方からの意見	市の考え方
1	令和4年1月28日	<p>18歳まで福祉医療費の助成が受けられるのはとても助かります。子供が高校生になってから、18歳まで助成してほしいと常々思っていました。</p> <p>障がいのある中学生の子供が今「子ども」の方での福祉医療費の助成で16歳から大人と同じ負担になるので、病気やリハビリで病院に行くことを減らさないといけないかと困って心配していました。</p> <p>恵那市が子供に手厚い福祉やサービスが受けられる市になれば子育て世代や若い人世代の定住と人口増にもつながると思います。</p> <p>ぜひ18歳までの福祉医療費助成をしてください。</p> <p>次は給食費が無料になると良いと思います。</p>	<p>・ご意見として参考にさせていただきます。</p>
2	令和4年1月28日	<p>子育て支援施策として、お考えいただきありがとうございます。</p> <p>・子育て世帯に対する経済的支援に関し、こども子育て会議から、「高校生の年代に対する支援が少ない」「教育費負担が大きい年代への支援」の必要性が指摘されたとのこと。経済的支援には「祝い金支給」「市内商品券支給」など、種々考えられると思います、そのような中で「医療費の無料化」にしたのはなぜでしょうか。</p> <p>・事業費はいくらでしょうか。恵那市の単独事業ですか、または国県の補助はあるのでしょうか。</p> <p>・コンビニ受診の心配についてどのように配慮するのでしょうか。</p>	<p>・医療費助成は、一時的な経済的支援ではなく、病気やけがをしたときに、医療費を気にせず、3年間安心して病院にかかることができるという安心感を得ることができると考えています。</p> <p>・事業費は、高校生への医療費助成分として、3,300万円を見込んでいます。これは恵那市の単独事業で、国や県の補助はありません。</p> <p>・コンビニ受診については、受給者証交付時に周知していきます。</p>